

遺言書

書き方の例
(注意: 全て自書)

遺言者、日本太郎は次の通り遺言する。

1、妻 日本花子(昭和〇〇年〇月〇日生)には以下の不動産を相続させる。

(1)土地

所在 東京都〇〇区〇〇

地番 〇番〇

地目 宅地

地積 〇〇平方メートル

(2)建物

所在 大阪府〇〇区〇〇

家屋番号 〇番〇

種類 居宅

構造 木造スレート葺2階建て

床面積 1階 〇〇平方メートル

2階 〇〇平方メートル

【注意】

自宅を妻になどの
表現では無効です！

2、長男 日本一太郎(昭和〇年〇月〇日生)には以下の預金を相続させる。

〇〇銀行〇〇支店の遺言者名義の普通預金

口座番号 1 2 3 4 5 6

3、長女 山口花美(昭和〇年〇月〇日生)には以下の預金を相続させる。

〇〇銀行〇〇支店の遺言者名義の定期預金

口座番号 1 2 3 4 5 6

4、その他遺言者に属する一切の財産は、妻 日本花子に相続させる。

5、遺言執行者として、妻 日本花子を指定する。

遺言執行者は、遺言者名義の預貯金の名義変更、払戻、解約、その他
本遺言の執行に必要な一切の行為をする権限を有する。

6、付言事項

法定相続分とは異なる相続分を指定する場合など、財産の分け方の理由の記入、
ありがとうの気持ち、今後の願いなどを記入します。(伝えておきたいことを記入します。)

令和〇年〇月〇日

大阪府〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

遺言者 日本太郎

【注意事項】

必ず全て自筆で記入します。一部でも代
筆があると無効となるので注意します。